PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

1976年5月26日

テーマ1 独占と自由企業の滅亡

1 ベターはジェイ・ロックフェラーのウェストバージニア州知事のための費用のかかる選挙運動で始まる。



2 彼はこのイメージとスタンダード・オイルの独占に対する古い一般大衆の恐怖を対比している。



3 1911年、最高裁判所はスタンダード・オイルを共和国への脅威として解散するよう命令した。



4 彼は税金免除の慈善活動は、広報と隠された支配の両方であるとしている。



5 独占は金、教育、裁判所、政治に拡大したと主張する。



6 サウジの石油管理は、世界の産業への拡大に大きく貢献したと主張する。



7 彼は、普通のお金ではなく、会社で払う鉱山労働者を思い出します。



8 ベターは会社町を独占の警告として使う。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

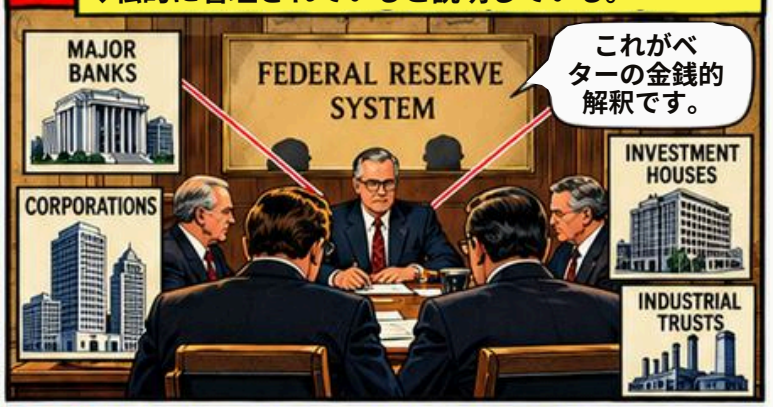
1976年5月26日

テーマ2 インフレと経済破壊

1 フェデラルリザーブの最新のメモと、鉱山労働者に支払われた会社のスクリップとを比べる。



2 彼は連邦準備制度を、本物の公的資金ではなく私的に管理されていると説明している。



3 多国籍企業は、支払い残高の数値を操作しやすくしたと、彼は言います。



4 ベター氏は、支払いの赤字が米国の金準備金の流出のスクリーンとして機能していると主張しています。



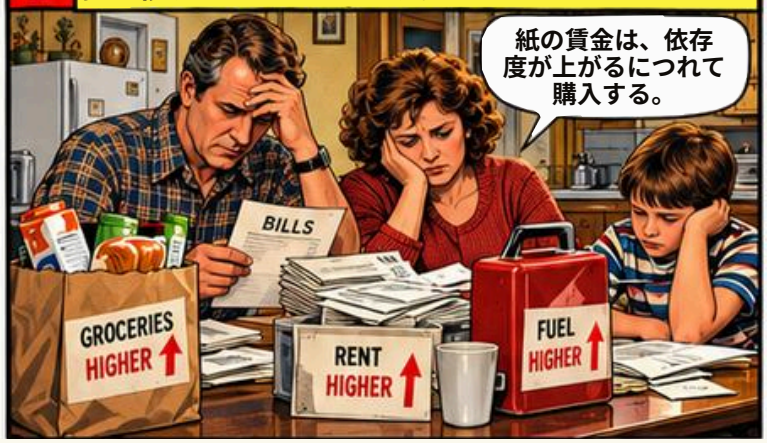
5 彼は地下金庫に保管されている将来の国内通貨を予測する。



6 資金、生産、流通のコントロールは個人的独立を消去すると警告している。



7 より良いインフレは、通常の家庭に負担を移すためのツールです。



8 経済破壊は紙と資産で力強い人を残していくと結論付けている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

1976年5月26日

テーマ3 ワンワールド政府と原子力破壊

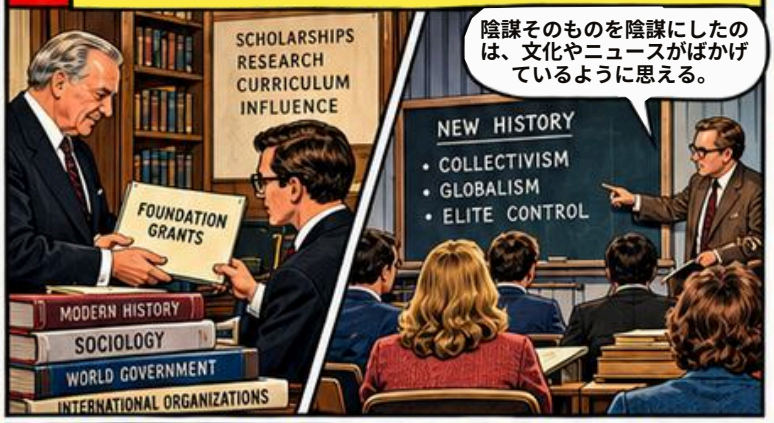
1 ベターは、カナダの経済的な圧力に対する抵抗を、独立のための闘争だと言及している。



2 戦争、米ソパートナーシップ、そして世界一大支配という3段階の計画が、彼は主張している。



3 財団は教育を集合主義とエリート支配に有利にするための形を変えていると主張する。



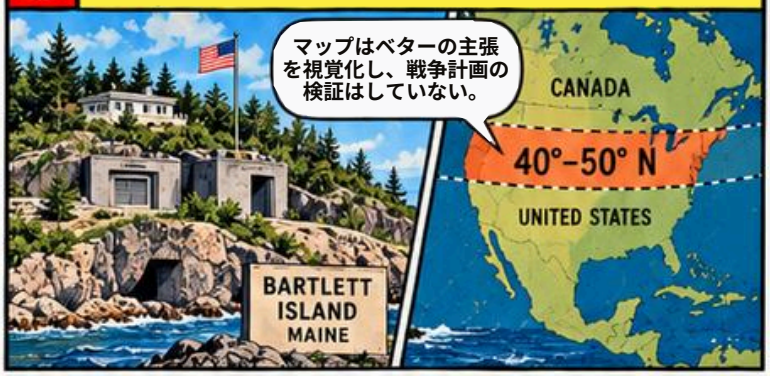
4 ベター氏は、ソ連の脅威に対する防衛措置は繰り返し拒否されていると言います。



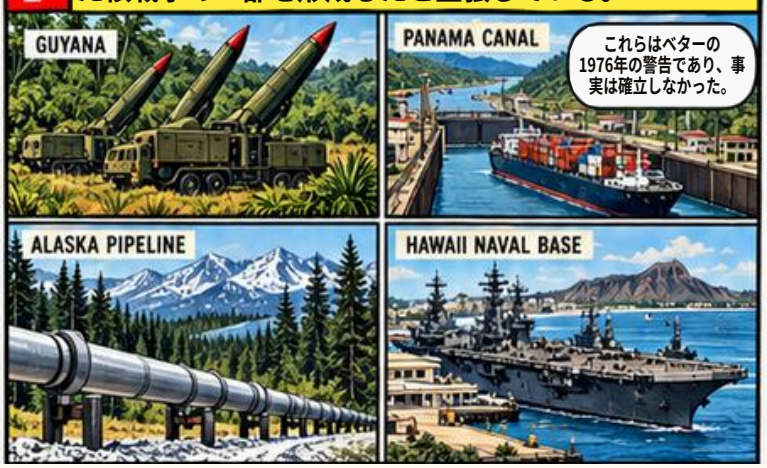
5 モスクワ大使館に放射性プルトニウムが保管されていると、彼は主張する。



6 メイン州の私立避難所の近くに、北部の「核安全地帯」がある。



7 ガイアナのミサイルとより広い標的は、計画された核戦争の一部を形成したと主張している。



8 彼は平和的な集会、公的調査、憲法上の行動を要求することで終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。